

小特集

純粹美術と宣伝美術 所蔵作品展「MOMAT コレクション」

会期：2021年10月5日（火）－2022年2月13日（日）所蔵品ギャラリー4階から2階

人とかたちの交流！

今期の「MOMAT コレクション」の見どころの一つは、2つの部屋を使った小特集「純粹美術と宣伝美術」です。純粹な美術と、商業的なグラフィックデザインの境界が曖昧だった戦後間もない頃の〈造形〉と〈人々〉の交流に焦点を絞ります。起点となるのは、デザインが分野として確立し始める1950年代に生み出されたポスター。同時代の美術とデザインの間を紐解くと、その造形的類似が浮かび上がります。横のつながりに注目することで、山城隆一、山口正城、河原温、チャールズ&レイ・イームズ、猪熊弦一郎、北代省三、大辻清司、岡上淑子など、ポスター、家具、絵画、彫刻など各分野で評価されてきた作家の知られざる側面が見えてくるでしょう。

この他にも、1階企画展ギャラリーで開催される「民藝の100年」展（2021年10月26日-2022年2月13日）に関連した展示や、昨年度、幅広い鑑賞の機会をつくるための取り組みの一環として制作した田中功起《ひとつの陶器を五人の陶芸家が作る（沈黙による試み）》（2013年）の「手話とバリアフリー字幕版」（2021年）なども展示します。

今期も見どころいっぱいの「MOMAT コレクション」をお楽しみください。

広報用画像

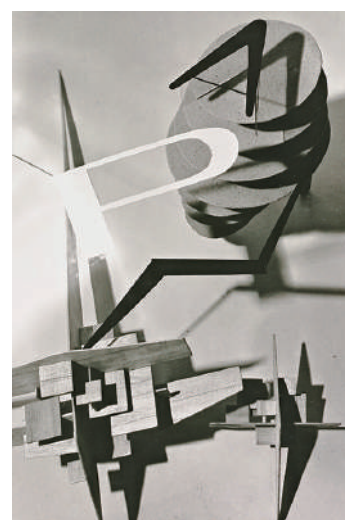
掲載ご希望の方は、画像番号（1-5）をお知らせください。



1. 山城隆一《日本宣伝美術会展》
1952年



2. チャールズ&レイ・イームズ
《合板ラウンジチェア》1946年
©Courtesy of EAMES OFFICE, LLC



3. 山口勝弘・大辻清司
《「APN」ポートフォリオより(2)》
1953-54年



「MOMAT コレクション」では、13,000点を超える所蔵作品から選りすぐりの約200点を、会期ごとに3フロア、12の部屋に分かれて展示します。明治から現代までの日本美術の歴史を海外作品も交えながら、毎回多様な切口で紹介しています。

【プレスリリース お問い合わせ先】

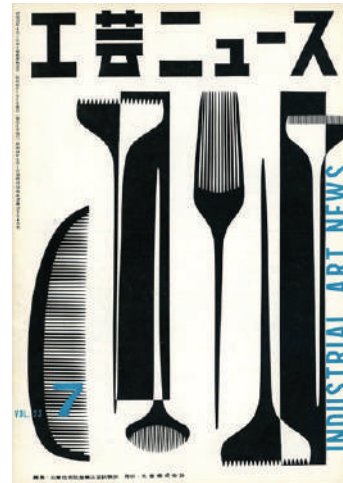
東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565 (直通) FAX: 03-3214-2576 Email: pr-f@momat.go.jp





4. 岡上淑子《室内》1951年
©OKANOUE Toshiko



5. 石元泰博『工芸ニュース』
Vol. 23-7、1955年7月号表紙
©高知県, 石元泰博フォトセンター

開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」（しょうさくひんてんもまっとこれくしょん）
（英）Collection Exhibition MOMAT Collection

会場：所蔵品ギャラリー 4階から2階

会期：2021年10月5日（火）－2022年2月13日（日）

休館日：月曜日 [2022年1月10日は開館]、年末年始 [12月27日（月）－2022年1月1日（土）]
1月11日（火）

開館時間：10:00-17:00（金・土曜は10:00-20:00）※入館は閉館30分前まで

観覧料：一般500（400）円／大学生250（200）円

※（）内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金・土曜の17時以降は、割引料金。一般300円、大学生150円。
※高校生以下および18歳未満、65歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者（1名）は無料。

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」（1b出口）徒歩3分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600（ハローダイヤル）

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時開催：企画展 | 柳宗悦没後60年記念展「民藝の100年」2021年10月26日（火）－2022年2月13日（日）

「民藝の100年」のチケットで、入館当日に限り所蔵作品展「MOMAT コレクション」もご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、開催内容、開館時間等が変更になる可能性があります。
最新情報はウェブサイトにてご確認ください。

【プレスリリース お問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565（直通）FAX: 03-3214-2576 Email: pr-f@momat.go.jp

